

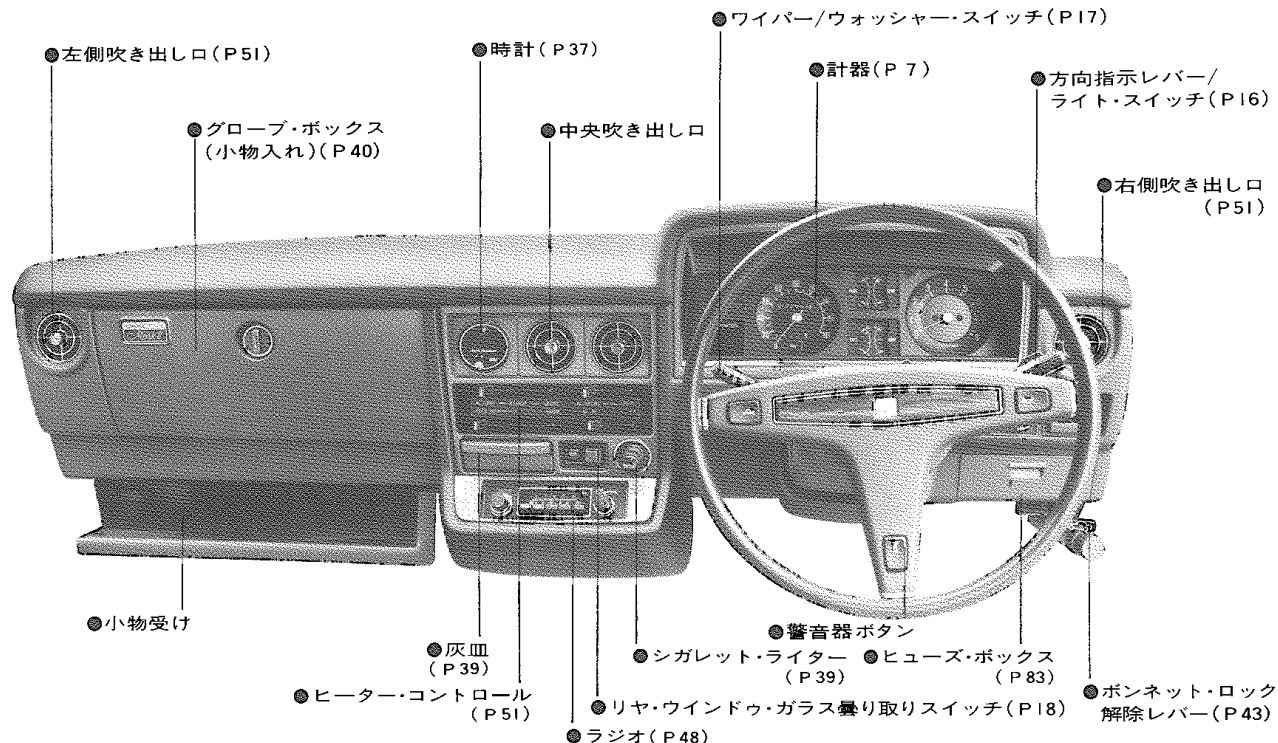


メーターの見方, 使い方

計器盤各部の名称	6
メーター, ランプの見方	7
① 速度計	8
② 積算距離計	8
③ 区間距離計	8
④ エンジン回転計	8
⑤ 燃料計	8
⑥ 燃料残量警告灯	8
⑦ 水温計	8
⑧ 電流計	9
⑨ 充電警告灯	9
⑩ 油圧計	9
⑪ 油圧警告灯	10
⑫ 排気温警告灯	10
⑬ OKモニター(異常箇所検知装置)	11
⑭ ブレーキ警告灯	12
⑮ シート・ベルト装着奨励灯	12
⑯ 前照灯の上向き表示灯	12
⑰ 方向指示表示灯	12
⑱ 時計	12
⑲ 予熱表示灯	13
⑳ タイミング・ベルト交換警告灯	13
㉑ 燃料・水分離器水位警告灯	13

計器盤各部の名称

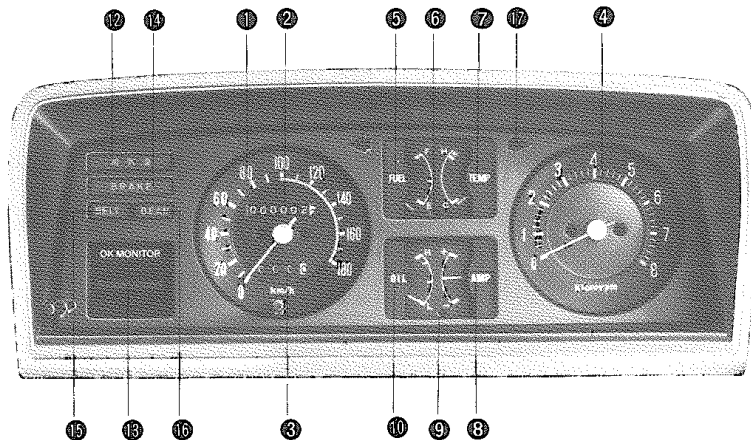
セダンLG車



() 内は説明ページを示します。

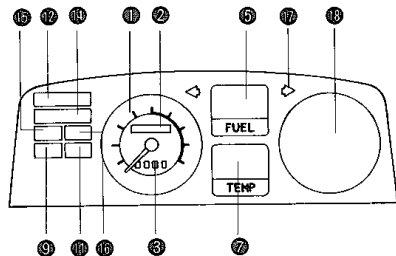
メーター、 ランプの 見方

GSL, LG, LG Touring, GRANDE車



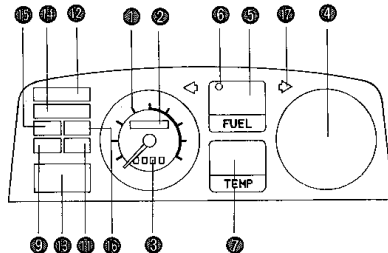
STD, DX車

<13(時計)はDX車のみ>



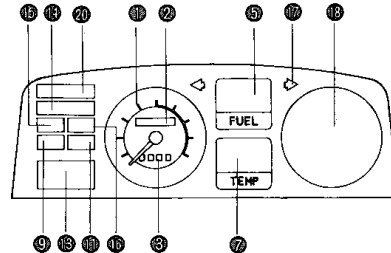
GL, L車

<16(燃料残量警告灯)
はL車のみ>



ディーゼル車

<15(OKモニター)
はGL車のみ>



⑧ = メーター、ランプの見方

① 速度計

約100km/h 以上になるとチャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき指針が振れることがあります異常ではありません。

② 積算距離計

走行した総距離をkmの単位で表わします。

白地に黒文字は、100mの単位です。

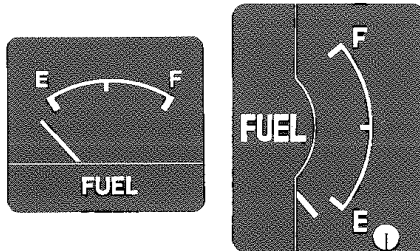
③ 区間距離計

ツマミを押せば0にもどり、以後の走行距離を示します。

④ エンジン回転計 *

毎分のエンジン回転数を示します。指針が赤色表示部（エンジンの許容回転数を越えている）にはならないように運転してください。

⑤ 燃料計



燃料残量警告灯

★Eに近づいたら早目に燃料を補給してください。

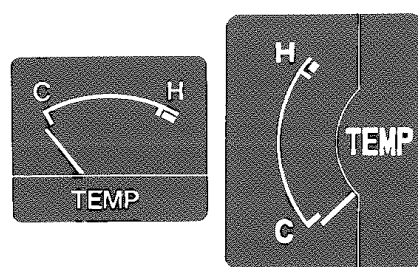
★高速道路や自動車専用道路での燃料切れは違反になります。走行する前に必ず燃料が十分あることを確認してください。

車種	燃料タンク容量(l)
セダン	65
ハードトップ	
ワゴン	61
バン	

⑥ 燃料残量警告灯 *

燃料の残量が10 l 以下になると、点灯して警告します。

⑦ 水温計



冷却水温を示します。

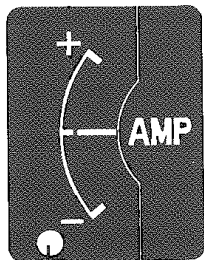
走行中の温度は目盛りのHの赤色表示部より内側をさしているのが正常です。



指針が、Hの赤色表示部にはいったときは、オーバー・ヒートのおそれがありますので、ただちに車を安全な場所に止め、処置をしてください。

82ページの「オーバー・ヒートの処置」の項目を参照してください。

⑧ 電流計 *



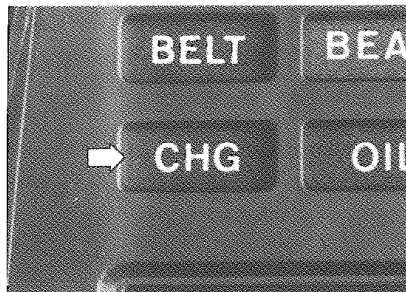
充電警告灯

指針の位置

{ (+) 側…充電状態
{ (-) 側…放電状態

エンジン始動後も⊖側を示しているとき、ランプやモーターなどの電気の使いすぎか、充電系統の異常が考えられます。

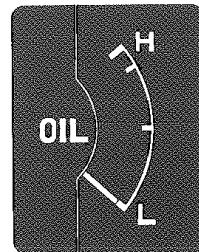
⑨ 充電警告灯



エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し警告します。

1. エンジン停止中に、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2. 充電警告灯が点灯するときは「排気温警告灯」「シート・ベルト装着奨励灯」も同時に点灯します。

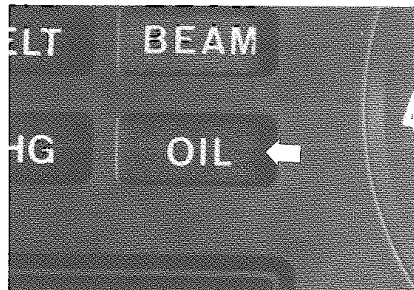
⑩ 油圧計 *



エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

1. エンジン回転を上げても指針が動かない場合は、潤滑系統に異常があります。エンジンを止めてオイル量を点検してください。
2. オイル量が正規であれば、他に異常がありますので点検を受けてください。

⑩油圧警告灯 *



エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

1. エンジン回転中に点灯したままのときは、エンジンを止めてオイル量を点検してください。
2. オイル量が正規であれば、他に異常があります。点灯したまま走行するとエンジンの焼き付きを起こすおそれがありますので点検を受けてください。

⑪排気温警告灯

ディーゼル/バン車を除く



触媒装置の温度が高くなりすぎると、点灯して警告します。

1. エンジン・スイッチをONにする時「排気温」のランプが点灯し始動すると消灯するのが正常です。
2. ONにしても点灯しない場合は点検を受けてください。
3. 充電警告灯が点灯すると、同時に「排気温警告灯」も点灯します。この場合、触媒の温度上昇を知らせているわけではありません。



「排気温警告灯」が点灯した場合、必ず次の処置をしてください。

1. 走行中の場合

- ◎ 警告灯が点灯したときの、半分程度に速度を落としてください。普通は数分内に消灯します。

- ◎ 速度を落としても消灯しない場合は枯れ草などの燃えやすいものがない場所に停車してください。それでも消灯しない場合はエンジンを止めて冷却してください。冷却したあとで再びエンジンを始動して消灯していることを確認してください。

2. 停車中の場合

- エンジンを止めて冷却するまで放置してください。冷却した後は再びエンジンを始動して消灯していることを確認してください。

消灯しない場合または再び点灯する場合は、そのまま使用せず点検を受けてください。

OKモニター(異常箇所検知装置) *



走行中、異常が発生した場合に異常箇所を知らせます。



OKモニターは仕業点検のためのものではありません。

仕業点検はボンネットをあけて行ってください。

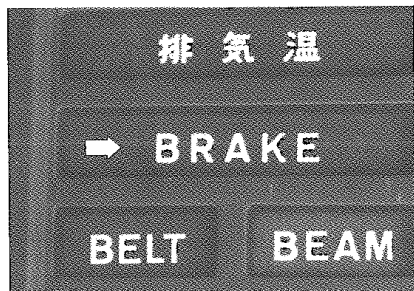
▶使用方法

- 1 作動表示灯の点検を行いません。
エンジン・スイッチをONにすると、OKモニターの作動表示灯が赤く点灯し、電球切れの点検ができます。
- 2 エンジン・スイッチONの状態で、点検スイッチを押すと、OKモニターの表示部に検出文字が順次表示されます。
すべての検知項目が表示されれば、ランプ類は正常です。
- 3 エンジンを始動すると作動表示灯は消灯し、OKモニターは作動状態となり、異常項目がある場合は作動表示灯が点灯し、異常項目の文字が表示されます。また、同じグループに2箇所以上の異常が発生した場合は優先順位が高いものが表示されます。

OKモニターは次の箇所の点検ができます。(検知項目はグレードによって異なります)

A グループ			B グループ		
順位	検知項目	不具合状況	順位	検知項目	不具合状況
1	BRAKE LIGHTS (制動灯)	1.ペダルを踏まないときに点灯する場合……全灯が切れたとき 2.ペダルを踏んだときに点灯する場合……1灯以上が切れたとき 3.ストップ・ヒューズが切れたとき	1	LINING WEAR (ライニング・ウエアー) (LG Touring, GRANDE車のみ)	前輪の内側の2枚のうちいずれかのディスク・ブレーキパッドの厚さが、使用限度以下になったとき
2	REAR LIGHTS (尾灯)	1.尾灯、番号灯点灯時1灯以上切れたとき 2.テール・ヒューズが切れたとき	2	RADIATOR (ラジエーター) (LG車以上)	ラジエーター補助タンク内の冷却水が0.4ℓ以下になったとき
3	BATTERY (バッテリー)	バッテリー液がバッテリーのLOWER LEVEL(下限)以下に減少したとき	3	W-WASHER (ウォッシャー) (LG車以上)	ウォッシャー液が0.4ℓ以下になったとき

14 ブレーキ警告灯



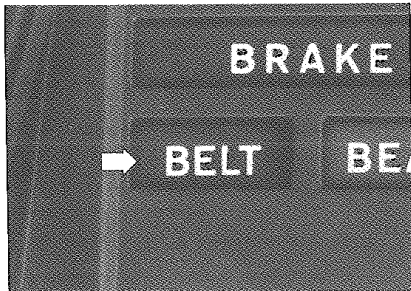
エンジン・スイッチがONのとき、駐車ブレーキ・レバーを引くと点灯し、もどすと消えます。レバーをもどしても消灯しないとき、また走行中点灯したときは、以下の不具合が考えられます。

1. ブレーキ液の漏れ、不足
2. 油圧システムの故障（GRANDE車）
3. ESC（電子制御式横すべり防止装置）の故障（ESC付き車）
4. ブレーキ倍力装置負圧の異常（ディーゼル車）



走行する前に、消灯していることを確認してください。

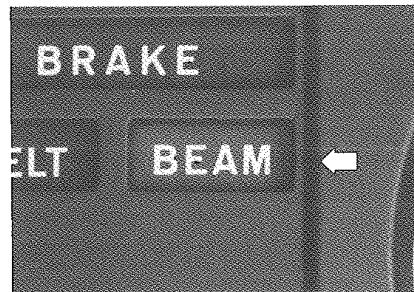
15 シート・ベルト装着奨励灯



シート・ベルトの着用を奨励するランプです。

エンジン・スイッチをONにすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。

16 前照灯の上向き表示灯



前照灯が上向きするとき点灯します。

17 方向指示表示灯

方向指示レバーの操作により、点滅して右折、左折を示します。

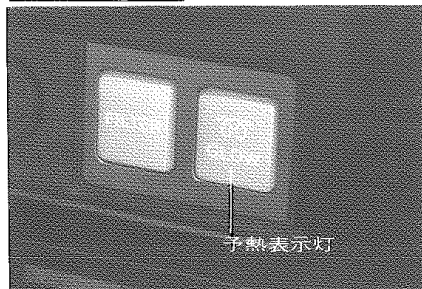
点滅が異常に早くなるときは、電球切れが考えられます。

18 時計 *

使用方法は37ページの「室内装備の使い方」の項目を参照してください。

⑩ 予熱表示灯

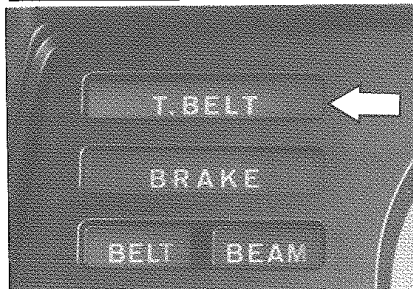
ディーゼル車



エンジン・スイッチをONにしたとき点灯し、予熱プラグの予熱状態を表示します。予熱が完了すると消灯します。20ページの「エンジン始動」の項目を参照してください。

⑪ タイミング・ベルト交換警告灯

ディーゼル車



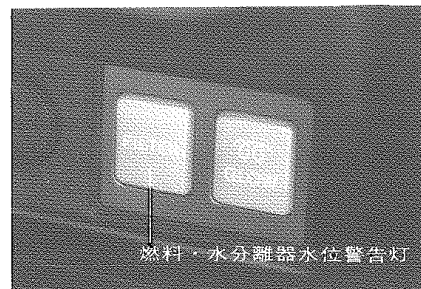
1. エンジン・スイッチがONのとき点灯し、始動すると消灯します。点灯しないときは、電球切れなどが考えられます。
2. 10万km走行後点灯します。



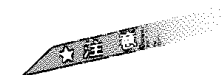
点灯したまま走行すると、タイミング・ベルトが切れてエンジンが損傷するおそれがありますので、トヨタ・サービス工場でお交換してください。

⑫ 燃料・水分離器水位警告灯

ディーゼル車



1. エンジン・スイッチがONのとき点灯し、始動すると消灯します。点灯しないときは、電球切れなどが考えられます。
2. 燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。



点灯したまま走行を続けると噴射ポンプが焼き付きエンジンが損傷するおそれがあります。警告灯が点灯したらただちに排水してください。

91ページの「燃料・水分離器の排水方法」の項目を参照してください。

